

I 学校調査

1 小学校

(1) 学校数

学校数は 991 校（本校 987 校、分校 4 校）で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立が 2 校（構成比 0.2%）、公立が 988 校（同 99.7%）、私立が 1 校（同 0.1%）となっています。（表 1-1, 統計表第 1 表, 第 9 表）

類型別にみると、複式学級のある学校（複式学級のみを学校を含む）は 33 校（構成比 3.3%）で、前年度と同数となっています。75 条の学級のある学校（75 条の学級のみを学校を含む）は 678 校（構成比 68.4%）で、前年度に比べ 32 校（5.0%）増加しています。（統計表第 6 表）

(2) 学級数

学級数は 14,985 学級で、前年度に比べ 313 学級（2.1%）増加しています。

（表 1-1, 統計表第 1 表）

編制方式別にみると、単式学級が 13,849 学級（構成比 92.4%）、複式学級が 75 学級（同 0.5%）、75 条の学級が 1,061 学級（同 7.1%）となっています。

75 条の学級の内訳をみると、知的障害 622 学級（構成比 58.6%）、情緒障害 402 学級（同 37.9%）、病弱・身体虚弱 23 学級（同 2.2%）の順となっています。

（統計表第 9 表, 第 11 表）

増減の内容は、単式学級が 250 学級（1.8%）、複式学級が 3 学級（4.2%）、75 条の学級が 60 学級（6.0%）それぞれ増加しています。（表 1-1）

表 1-1 学校数・学級数の推移（小学校）

単位：校，学級

区 分	学校数			学級数				1校当たりの学級数	
	国立	公立	私立	単式	複式	75条	愛知県	全 国	
平成12年度	2	986	1	14,208	13,307	63	838	14.4	11.3
13	2	986	1	14,252	13,283	76	893	14.4	11.3
14	2	987	1	14,297	13,288	71	938	14.4	11.4
15	2	988	1	14,672	13,599	72	1,001	14.8	11.5
16	2	988	1	14,985	13,849	75	1,061	15.1	11.7

収容人員別学級数についてみると、31～35 人学級が 4,767 学級（構成比 31.8%）と最も多く、次いで 26～30 人学級が 3,891 学級（同 26.0%）、36～40 人学級が 2,892 学級（同 19.3%）の順となっています。（統計表第 8 表）

1 校当たりの学級数は 15.1 学級で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 11.7 学級となっています。（表 1-1）

(3) 児童数

児童数は427,226人（男子218,493人、女子208,733人）で、前年度に比べ4,022人（1.0%）増加しています。昭和56年度のピーク時（684,239人）に比べ37.6%減少しているものの、3年連続の増加となりました。（表1-2, 統計表第1表）

表1-2 児童数・教員数（本務者）の推移（小学校）

単位：人，%

区 分	児童数			1学級当たりの児童数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの児童数		
	対前年度 増減率	男	女	愛知県	全 国		愛知県	全 国	
平成12年度	418,839	△ 1.1	213,952	204,887	29.5	27.1	20,489	20.4	18.1
13	418,640	△ 0.0	214,033	204,607	29.4	26.9	20,565	20.4	17.9
14	419,519	0.2	214,308	205,211	29.3	26.7	20,712	20.3	17.6
15	423,204	0.9	216,139	207,065	28.8	26.5	21,029	20.1	17.5
16	427,226	1.0	218,493	208,733	28.5	26.3	21,301	20.1	17.4

市町村別にみると、53市町村で増加し、34市町村で減少しています。増加したのは春日井市の438人を始めとして、名古屋市、日進市の順であり、一方、減少したのは蒲郡市の63人を始めとして、南知多町、田原市の順となっています。また、地域別にみると、全ての地域で増加しています。（表1-3, 1-4）

表1-3 児童数増減上位市町村（小学校）

単位：人

表1-4 地域別小学校児童数

単位：人，%

市町村名	対前年度増加数 (53市町村)	市町村名	対前年度減少数 (34市町村)	区 分	平成16年度	平成15年度	対前年度増減	
							実 数	率
春日井市	438	蒲 郡 市	△ 63	総 数	427,226	423,204	4,022	1.0
名古屋市	433	南知多町	△ 53	名古屋市	118,661	118,228	433	0.4
日進市	293	田原市	△ 47	尾張地域	166,012	163,518	2,494	1.5
三好町	234	藤岡町	△ 46	西三河地域	95,840	94,927	913	1.0
一宮市	231	常滑市	△ 42	東三河地域	46,713	46,531	182	0.4

1学級当たりの児童数は28.5人で、前年度に比べ0.3人減少しています。なお、全国平均は26.3人となっています。（表1-2）

75条の学級在籍児童数は3,351人で、前年度に比べ178人（5.6%）増加しています。内訳をみると、知的障害2,017人（構成比60.2%）、情緒障害1,238人（同36.9%）、病弱・身体虚弱68人（同2.0%）の順となっています。（統計表第11表）

児童数のうち帰国子女数は497人で、平成14年度間に比べ8人減少しています。（付表第4表）

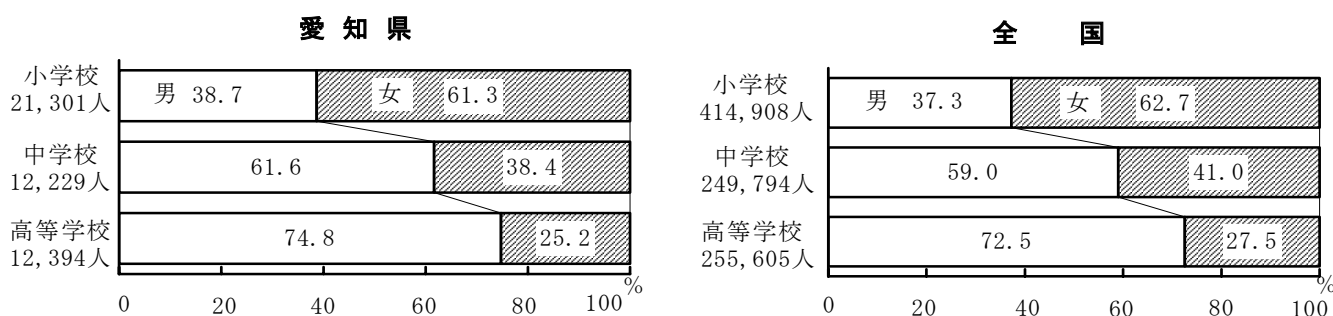
(4) 教員数

教員数は本務者 21,301 人、兼務者 1,265 人で、前年度に比べ本務者は 272 人(1.3%)、兼務者は 387 人(44.1%)それぞれ増加しています。(統計表第1表, 第9表)

本務教員は男子教員 8,241 人、女子教員 13,060 人となっています。女子教員の割合は 61.3%で、前年度に比べ 0.5 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 62.7%となっています。(図 1-1)

また、本務教員 1 人当たりの児童数は 20.1 人で、前年度と同数です。なお、全国平均は、17.4 人となっています。(表 1-2)

図 1-1 教員男女別構成比(本務者)



(5) 理由別長期欠席児童数

平成 15 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席児童数は 3,212 人で、前年度間に比べ 225 人(△6.5%)減少しています。これを理由別にみると、不登校 1,443 人(構成比 44.9%)、病気 1,252 人(同 39.0%)、その他 509 人(同 15.8%)の順となっています。

全児童数に占める長期欠席児童の割合は 0.75%で、前年度間に比べ 0.07 ポイント低下しています。また、このうち「不登校」の割合は 0.34%で、0.02 ポイント低下しています。なお、全児童数に占める長期欠席児童の割合の全国平均は 0.86%、このうち「不登校」の割合の全国平均は 0.33%となっています。

(表 1-5, 統計表第 12 表)

表1-5 理由別長期欠席児童数の推移(小学校)

単位: 人, %

区分	計	全児童数に占める割合		病気	経済的 理由	不登校	全児童数に占める割合		その他
		愛知県	全国				愛知県	全国	
平成11年度間	3,708	0.88	1.05	1,704	12	1,486	0.35	0.35	506
12	3,765	0.90	1.06	1,726	18	1,504	0.36	0.36	517
13	4,073	0.97	1.06	1,936	9	1,614	0.39	0.36	514
14	3,437	0.82	0.94	1,404	3	1,518	0.36	0.36	512
15	3,212	0.75	0.86	1,252	8	1,443	0.34	0.33	509

2 中学校

(1) 学校数

学校数は437校（本校434校、分校3校）で、前年度に比べ1校（0.2%）増加しています。

設置者別にみると、国立が3校（構成比0.7%）、公立が413校（同94.5%）、私立が21校（同4.8%）となっています。（表1-6、統計表第1表）

類型別にみると、複式学級のある学校は2校（構成比0.5%）で前年度と同数となっています。75条の学級のある学校（75条の学級のみを含む）は310校（構成比70.9%）で、前年度に比べ11校（3.7%）増加しています。（統計表第6表）

(2) 学級数

学級数は6,219学級で、前年度に比べ72学級（△1.1%）減少しています。（統計表第1表）

編制方式別にみると、単式学級が5,745学級（構成比92.4%）、複式学級が2学級（同0.0%）、75条の学級が472学級（同7.6%）となっています。（統計表第13表）

75条の学級の内訳をみると、知的障害309学級（構成比65.5%）、情緒障害154学級（同32.6%）、病弱・身体虚弱7学級（同1.5%）の順となっています。

（統計表第15表）

増減の内容は単式学級が99学級（△1.7%）減少、75条の学級が27学級（6.1%）増加、複式学級が前年度と同数となっています。（表1-6）

表1-6 学校数・学級数の推移（中学校）

単位：校，学級

区分	学校数			学級数			1校当たりの学級数	
	国立	公立	私立	単式	複式	75条	愛知県	全国
平成12年度	3	414	20	6,616	2	400	15.1	11.3
13	3	412	20	6,496	2	403	14.9	11.1
14	3	412	20	6,395	2	423	14.7	10.9
15	3	412	21	6,291	2	445	14.4	10.7
16	3	413	21	6,219	2	472	14.2	10.7

収容人員別学級数についてみると、36～40人学級が3,207学級（構成比51.6%）と最も多く、次いで31～35人学級が2,036学級（同32.7%）、7人以下の学級が463学級（同7.4%）の順となっています。これを設置者別にみると、公立では36～40人学級が3,110学級（同52.4%）、私立では41～45人学級が87学級（同34.5%）と最も多くなっています。（統計表第8表）

1校当たりの学級数は14.2学級で、前年度と比べ0.2学級の減少となっています。なお、全国平均は10.7学級となっています。（表1-6）

(3) 生徒数

生徒数は206,345人（男子105,143人、女子101,202人）で、前年度に比べ3,425人（△1.6%）減少しています。また、昭和61年度のピーク時（348,339人）に比べ40.8%減少し18年連続の減少となっています。（表1-7、統計表第1表）

表1-7 生徒数・教員数（本務者）の推移（中学校）

単位：人，%

区 分	生徒数			1学級当たりの生徒数		教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの生徒数		
	対前年度 増減率	男	女	愛知県	全 国		愛知県	全 国	
平成12年度	225,088	△ 2.4	115,127	109,961	34.0	32.4	12,633	17.8	15.9
13	220,429	△ 2.1	112,738	107,691	33.9	32.1	12,562	17.5	15.6
14	215,327	△ 2.3	110,306	105,021	33.7	31.7	12,549	17.2	15.2
15	209,770	△ 2.6	107,109	102,661	33.3	31.3	12,392	16.9	14.9
16	206,345	△ 1.6	105,143	101,202	33.2	31.0	12,229	16.9	14.7

市町村別にみると、19市町村で増加し、68市町村で減少しています。増加したのは日進市の56人を始めとして、蟹江町、扶桑町、大治町の順であり、一方、減少したのは名古屋市の1,045人を始めとして、岡崎市、豊橋市、豊田市の順となっています。また、地域別にみると、名古屋市、尾張、西三河、東三河の全地域で減少しています。

(表 1-8, 1-9)

表1-8 生徒数増減上位市町村（中学校）

単位：人

表1-9 地域別中学校生徒数

単位：人，%

市町村名	対前年度増加数 (19市町村)	市町村名	対前年度減少数 (68市町村)	区 分	平成16年度	平成15年度	対前年度増減	
							実 数	率
日進市	56	名古屋市	△ 1,045	総 数	206,345	209,770	△ 3,425	△ 1.6
蟹江町	36	岡崎市	△ 231	名古屋市	59,426	60,471	△ 1,045	△ 1.7
扶桑町	22	豊橋市	△ 225	尾張地域	77,643	78,652	△ 1,009	△ 1.3
大治町	22	豊田市	△ 194	西三河地域	46,027	46,765	△ 738	△ 1.6
津島市	21	瀬戸市	△ 148	東三河地域	23,249	23,882	△ 633	△ 2.7

1学級当たりの生徒数は33.2人で、前年度に比べ0.1人減少しています。なお、全国平均は14.7人となっています。(表 1-7)

75条の学級在籍生徒数は1,651人で、前年度に比べ75人(4.8%)増加しています。内訳をみると知的障害1,155人(構成比70.0%)、情緒障害471人(同28.5%)、病弱・身体虚弱20人(同1.2%)の順となっています。(統計表第15表)

生徒数のうち帰国子女数は196人で、平成14年度間に比べ10人増加しています。(付表第4表)

(4) 教員数

教員数は本務者12,229人、兼務者1,544人で、前年度に比べ本務者は163人(△1.3%)減少、兼務者は313人(25.4%)増加しています。

(統計表第1表, 第13表)

本務教員は男子教員7,539人、女子教員4,690人となっています。女子教員の割合は38.4%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇しています。なお、全国平均は41.0%となっています。

(図 1-1)

また、本務教員1人当たりの生徒数は16.9人で、前年度と同数となっています。なお、全国平均は14.7人となっています。(表 1-7)

(5) 理由別長期欠席生徒数

平成 15 年度間の 30 日以上学校を欠席した長期欠席生徒数は 7,231 人で、前年度間に比べ 318 人（△4.2%）減少しています。これを理由別にみると、不登校 5,897 人（構成比 81.6%）、病気 874 人（同 12.1%）、経済的理由 22 人（同 0.3%）の順となっています。

全生徒数に占める長期欠席生徒の割合は 3.45%で、前年度間に比べ 0.06 ポイント低下しています。また、このうち「不登校」の割合は 2.81%で、0.01 ポイント低下しています。全児童数に占める長期欠席児童の割合の全国平均は 3.50%、このうち「不登校」の割合の全国平均は 2.73%となっています。

（表 1-10, 統計表第 16 表）

表1-10 理由別長期欠席生徒数の推移（中学校）

単位：人，%

区 分	計	全生徒数に占める割合		病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	全生徒数に占める割合		そ の 他
		愛知県	全 国				愛知県	全 国	
平成11年度間	7,779	3.37	3.36	1,197	61	5,927	2.57	2.45	594
12	8,134	3.61	3.55	1,275	73	6,203	2.76	2.63	583
13	8,437	3.83	3.72	1,251	56	6,609	3.00	2.81	521
14	7,549	3.51	3.52	971	22	6,081	2.82	2.73	475
15	7,231	3.45	3.50	874	22	5,897	2.81	2.73	438

3 高等学校

(1) 学校数

学校数は 230 校（本校 226 校、分校 4 校）で、前年度に比べ 1 校（△0.4%）減少しています。設置者別にみると、国立が 2 校（構成比 0.9%）、公立が 172 校（同 74.8%）、私立が 56 校（同 24.3%）となっています。

（表 1-11, 統計表第 1 表, 第 17 表）

課程別にみると、全日制が 196 校（構成比 85.2%）、定時制が 3 校（同 1.3%）、全・定併置が 31 校（同 13.5%）となっています。

（表 1-11, 統計表第 20 表）

表1-11 学校数の推移（高等学校）

単位：校

区 分	総 数	設 置 者 別			課 程 別		
		国 立	公 立	私 立	全 日 制	定 時 制	全・定併置
平成12年度	233	2	175	56	196	4	33
13	232	2	174	56	196	4	32
14	231	2	173	56	196	3	32
15	231	2	173	56	197	3	31
16	230	2	172	56	196	3	31

(2) 学科数

学科数は 337 学科で、前年度に比べ 1 学科（△0.3%）減少しています。

学科別にみると、普通科が 205 学科（構成比 60.8%）と最も多く、次いで商業科 43 学科（同 12.8%）、工業科 35 学科（同 10.4%）、家庭科 23 学科（同 6.8%）の順となっています。（図 1-2, 統計表第 21 表）

(3) 生徒数

生徒数は199,807人（男子100,608人、女子99,199人）で、前年度に比べ2,818人（△1.4%）減少しています。また、平成元年度のピーク時（310,411人）に比べ35.6%減少し15年連続の減少となっています。（表1-12）

表1-12 生徒数・教員数（本務者）の推移（高等学校）

単位：人，%

区 分	生徒数						教員数 (本務者)	本務教員1人当たりの生徒数	
	対前年度 増減率	男	女	全日制	定時制	愛知県		全 国	
平成12年度	215,168	△ 0.7	106,728	108,440	210,172	4,996	12,863	16.7	15.5
13	212,146	△ 1.4	105,663	106,483	207,081	5,065	12,764	16.6	15.2
14	206,033	△ 2.9	102,774	103,259	200,813	5,220	12,561	16.4	15.0
15	202,625	△ 1.7	101,736	100,889	197,300	5,325	12,435	16.3	14.7
16	199,807	△ 1.4	100,608	99,199	194,510	5,297	12,394	16.1	14.5

設置者別にみると、国立が897人（構成比0.4%）、公立が136,447人（同68.3%）、私立が62,463人（同31.3%）となっています。

（統計表第1表）

課程別にみると、全日制は194,510人、定時制は5,297人で、前年度に比べ全日制は2,790人（△1.4%）、定時制は28人（△0.5%）それぞれ減少しています。

（表1-12, 統計表第18表）

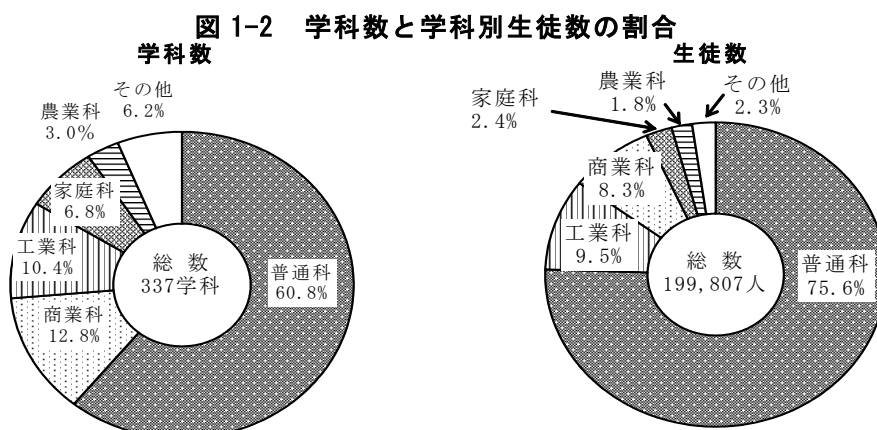
学科別にみると、普通科151,090人（構成比75.6%）、工業科19,067人（同9.5%）、商業科16,580人（同8.3%）、家庭科4,847人（同2.4%）の順となっています。

（図1-2, 統計表第19表）

本科の入学状況をみると、入学者総数は67,373人（男子34,081人、女子33,292人）で、前年度に比べ1,142人（△1.7%）減少しています。

入学者を課程別にみると、全日制は65,479人（男子32,954人、女子32,525人）で、前年度に比べ1,120人（△1.7%）、定時制は1,894人（男子1,127人、女子767人）で、前年度に比べ22人（△1.1%）それぞれ減少しています。また、全日制の入学者のうち国・公立入学者は44,203人で、入学者総数の65.6%を占めています。入学者のうち他県所在の中学校卒業者は816人（全日制746人、定時制70人）で入学者総数の1.2%（前年度1.2%）を占めています。入学者のうち過年度中学校卒業者は747人で、入学者総数の1.1%（前年度1.1%）を占めています。（統計表第22表）

帰国子女数は118人で、平成14年度間に比べ33人減少しています。（付表第4表）



(4) 教員数

教員数は本務者 12,394 人、兼務者 4,090 人で、前年度に比べ本務者は 41 人(△0.3%)減少、兼務者は 230 人(6.0%)増加しています。(統計表第 1 表, 第 17 表)

本務教員は男子教員 9,265 人、女子教員 3,129 人となっています。女子教員の割合は 25.2%で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇しています。なお、全国平均は 27.5%となっています。

(図 1-1)

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は 16.1 人で、前年度に比べ 0.2 人減少しています。なお、全国平均は 14.5 人となっています。(表 1-12)

4 通信制高等学校

(1) 学校数

学校数は 7 校(県立 2 校、私立 5 校)で、前年度と同数となっています。通信教育のみを行う独立校は 1 校で、全日制又は定時制の課程との併置校は 6 校となっています。(表 1-13, 統計表第 1 表)

(2) 生徒数

生徒数は 7,613 人(男子 5,103 人、女子 2,510 人)で、前年度に比べ 363 人(△4.6%)減少しています。(表 1-13, 統計表第 1 表, 第 23 表)

学科別にみると、普通科 4,815 人(構成比 63.2%)、商業科 1,553 人(同 20.4%)、工業科 1,245 人(同 16.4%)の順となっています。(統計表第 24 表)

入学者は本年度が 2,196 人(男子 1,525 人、女子 671 人)、平成 15 年度が 2,388 人(男子 1,663 人、女子 725 人)となっています。(統計表第 25 表)

また、平成 15 年度間の退学者は 630 人(男子 449 人、女子 181 人)となっています。(統計表第 25 表)

(3) 教員数

教員数は本務者 85 人、兼務者 64 人で、前年度に比べ本務者は 7 人(△7.6%)、兼務者は 7 人(△9.9%)それぞれ減少しています。(統計表第 1 表, 第 2 表)

本務教員は男子教員 65 人、女子教員 20 人で、女子教員の割合は 23.5%となっています。(表 1-13)

表1-13 学校数・生徒数及び教員数の推移(通信制高等学校)

単位:校,人,%

区 分	学校数	立		生徒数	対前年度 増 減 率	男	女	教員数 (本務者)	性	
		県 立	私 立						男	女
平成12年度	7 (1)	2 (1)	5	8,951	4.7	6,126	2,825	111	91	20
13	7 (1)	2 (1)	5	8,900	△ 0.6	6,051	2,849	103	79	24
14	7 (1)	2 (1)	5	8,633	△ 3.0	5,853	2,780	99	78	21
15	7 (1)	2 (1)	5	7,976	△ 7.6	5,397	2,579	92	74	18
16	7 (1)	2 (1)	5	7,613	△ 4.6	5,103	2,510	85	65	20

注：() 書きは通信教育のみを行う学校を再掲

5 大 学

(1) 学校数

学校数は49校で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立が4校、公立が4校、私立が41校となっています。

(統計表第1表, 第26表)

(2) 学生数

学生数は182,624人(男子107,892人、女子74,732人)で、前年度に比べ368人(0.2%)増加しています。

設置者別にみると、国立が29,411人(構成比16.1%)、公立が8,287人(同4.5%)、私立が144,926人(同79.4%)となっています。

(統計表第1表)

学生数の内訳は、学部が165,093人(構成比90.4%)、大学院が13,982人(同7.7%)、専攻科が13人(同0.0%)、別科が357人(同0.2%)、聴講生・選科生・研究生等が3,179人(同1.7%)となっています。これを前年度と比べると、大学院が653人(4.9%)、専攻科が1人(8.3%)、聴講生・選科生・研究生等が44人(1.4%)それぞれ増加、学部が296人(△0.2%)、別科が34人(△8.7%)それぞれ減少しています。

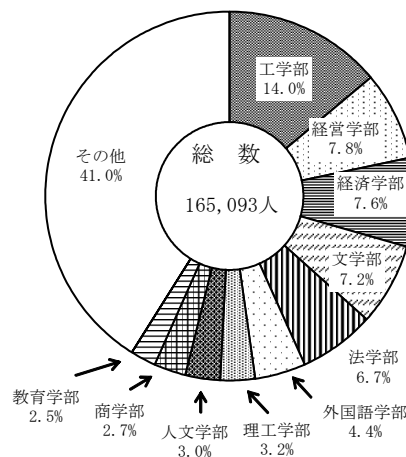
(表1-14, 統計表第26表)

表1-14 学生数の推移(大学)

区 分	計	対前年度 増減率	単位：人，%						
			男	女	学 部	大学院	専攻科	別 科	聴 講 生 ・ 選 科 生 ・ 研 究 生 等
平成12年度	172,642	3.4	107,023	65,619	156,957	12,210	29	262	3,184
13	176,974	2.5	108,014	68,960	160,614	12,886	25	332	3,117
14	180,355	1.9	108,529	71,826	163,798	13,012	24	366	3,155
15	182,256	1.1	108,478	73,778	165,389	13,329	12	391	3,135
16	182,624	0.2	107,892	74,732	165,093	13,982	13	357	3,179

学部別学生数をみると、工学部が23,040人(構成比14.0%)と最も多く、次いで経営学部12,922人(同7.8%)、経済学部12,562人(同7.6%)、文学部11,840人(同7.2%)の順となっています。また、学部学生のうち男子学生の割合は58.1%で、前年度に比べ0.5低下しています。(図1-3, 統計表第27表)

図1-3 学部別学生数の割合(大学・学部)



大学院学生数は、修士課程（修士課程及び博士前期課程）が9,791人、博士課程（博士後期課程及び医・歯学の博士課程）が3,930人で、前年度に比べ修士課程で306人(3.2%)、博士課程で86人(2.2%)それぞれ増加しています。また、平成16年度から専門職学位課程261人が加わりました。（統計表第26表）

専攻別にみると、修士課程、博士課程とも工学研究科がそれぞれ3,610人（構成比36.9%）、683人（構成比17.4%）と最も多くなっています。

（統計表第30表）

学部の入学状況をみると、入学志願者数は213,309人となり前年度に比べ4,780人（△2.2%）減少、入学者数は39,953人となり前年度に比べ52人(0.1%)増加しており、入学倍率は5.3倍となり、前年度に比べ0.2ポイント低下しています。

（表1-15, 統計表第28表, 第29表）

入学者のうち高等学校新卒者の占める割合は86.4%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇しています。また学部別にみると、文化情報学部(98.9%)、現代マネジメント学部(98.4%)、生活科学部(97.6%)、人間健康学部(97.6%)などが高くなっているのに対し、薬学部(60.5%)、芸術工学部(60.3%)、美術学部(58.1%)、医学部(49.2%)などが低くなっています。

（図1-4, 統計表第29表）

また、県内大学の入学者に占める県内高等学校出身者の割合は60.4%で、前年度に比べ0.6ポイント低下しています。これを設置者別にみると、国立が57.6%、公立が61.7%、私立が60.7%となっています。（表1-16, 統計表第29表）

表1-15 入学志願者数及び入学者数の推移

区分	入学志願者数	入学者数	高等学校新卒者数		入学倍率
			高等学校新卒者数	構成比	
平成12年度	197,443	40,121	35,124	87.5	4.9
13	205,437	40,344	35,456	87.9	5.1
14	220,003	41,199	35,699	86.7	5.3
15	218,089	39,901	34,418	86.3	5.5
16	213,309	39,953	34,597	86.6	5.3

単位：人，%

図1-4 高等学校新卒者の占める割合の
高い学部及び低い学部

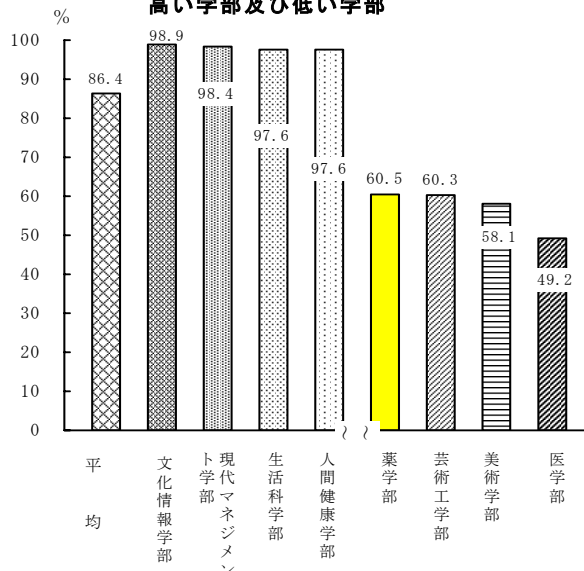


表1-16 設置者別入学者数（大学・学部）

区分	入学者数	県内高等学校出身者数		男	県内高等学校出身者数		女	県内高等学校出身者数	
		出身者数	構成比		出身者数	構成比		出身者数	構成比
計	39,953	24,131	60.4	22,945	13,394	58.4	17,008	10,737	63.1
国立	4,364	2,515	57.6	2,990	1,652	55.3	1,374	863	62.8
公立	1,663	1,026	61.7	551	342	62.1	1,112	684	61.5
私立	33,926	20,590	60.7	19,404	11,400	58.8	14,522	9,190	63.3
全国	598,331	246,190	41.1	355,817	136,814	38.5	242,514	109,376	45.1

単位：人，%

(3) 教員数

教員数は、本務者 9,177 人、兼務者 10,813 人で、前年度に比べ、本務者は 191 人(2.1%)、兼務者は 726 人(7.2%)それぞれ増加しています。設置者別にみると、国立が本務者 2,673 人、兼務者 1,977 人、公立が本務者 849 人、兼務者 1,337 人、私立が本務者 5,655 人、兼務者 7,499 人となっています。

(統計表第 1 表, 第 3 表)

また、本務教員 1 人当たりの学生数は、国立が 11.0 人、公立が 9.8 人、私立が 25.6 人となっています。

6 短期大学

(1) 学校数

学校数は 33 校で、前年度と同数になっています。設置者別にみると、私立が 33 校となっています。

(統計表第 1 表, 第 31 表)

(2) 学生数

学生数は 14,234 人(男子 1,092 人、女子 13,142 人)で、前年度に比べ 771 人(△5.1%)減少しています。(統計表第 1 表)

学生数の内訳は本科が 13,934 人(構成比 97.9%)、専攻科が 222 人(同 1.6%)、聴講生・選科生・研究生等が 78 人(同 0.5%)となっています。これを前年度と比べると、本科が 772 人(△5.2%)減少、専攻科が 22 人(11.0%)増加、聴講生・選科生・研究生等が 21 人(△21.2%)減少しています。(表 1-17, 統計表第 31 表)

表1-17 学生数の推移(短期大学)

単位：人，%

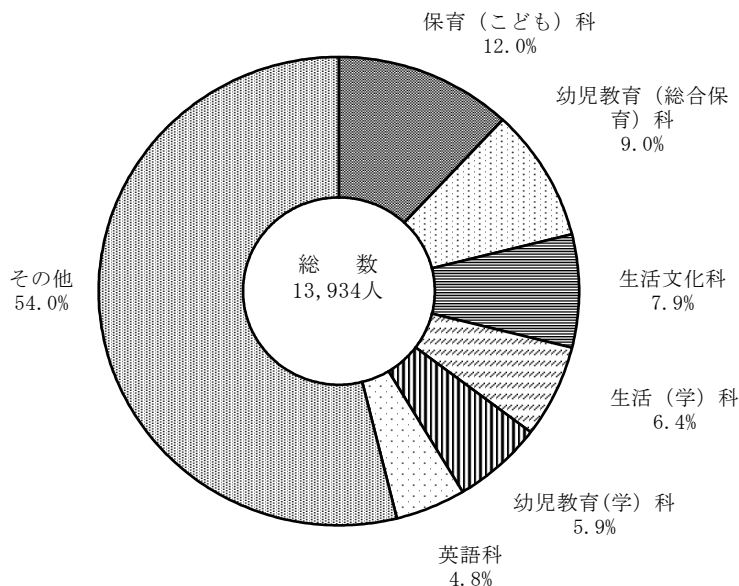
区分	計	対前年度 増減率	男	女	本科	専攻科	別科	聴講生・ 選科生・ 研究生等
平成12年度	22,260	△ 19.8	1,426	20,834	21,835	278	35	112
13	17,692	△ 20.5	931	16,761	17,336	234	32	90
14	15,963	△ 9.8	900	15,063	15,673	216	-	74
15	15,005	△ 6.0	1,046	13,959	14,706	200	-	99
16	14,234	△ 5.1	1,092	13,142	13,934	222	-	78

本科学生数を学科別にみると、保育(こども)科が 1,671 人(構成比 12.0%)と最も多く、次いで幼児教育(総合保育)科が 1,253 人(同 9.0%)、生活文化科が 1,104 人(同 7.9%)の順となっています。また、本科在学者のうち女子学生の割合は 92.4%で、前年度に比べ 0.8 ポイント低下しています。(図 1-5, 統計表第 32 表)

本科の入学状況をみると、入学志願者は 15,061 人となり前年度に比べ 882 人(6.2%)増加、入学者は 6,551 人となり前年度に比べ 455 人(△6.5%)減少しています。入学倍率は 2.3 倍となり、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇しています。

(表 1-18, 統計表第 33 表, 第 34 表)

図1-5 学科別学生数の割合（短期大学・本科）



また、県内短期大学入学者に占める県内高等学校出身者の割合は 69.8%で、前年度に比べ 1.0 ポイント上昇しています。（表 1-18）

入学者のうち高等学校新卒者の割合は 94.6%で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇しています。（統計表第 34 表）

表1-18 設置者別入学者数（短期大学・本科）

単位：人，%

区分	入学者数	県内高等学校出身者数		男	県内高等学校出身者数		女	県内高等学校出身者数	
		構成比	構成比		構成比	構成比			
計	6,551	4,575	69.8	509	320	62.9	6,042	4,255	70.4
私立	6,551	4,575	69.8	509	320	62.9	6,042	4,255	70.4
全国	106,204	64,905	61.1	13,221	6,784	51.3	92,983	58,121	62.5

(3) 教員数

教員数は、本務者 727 人、兼務者 1,471 人で、前年度に比べ、本務者は 18 人（△2.4%）、兼務者は 241 人（△14.1%）それぞれ減少しています。（統計表第 1 表，第 3 表）

また、本務教員 1 人当たりの学生数は 19.6 人となっています。

7 盲学校・聾学校・養護学校

(1) 学校数

学校数は盲学校が2校（公立のみ）、聾学校が5校（公立のみ）で前年度と同数となっています。養護学校は23校（国立1校、公立22校）で、1校（4.5%）増加しています。

（表1-19, 統計表第1表, 第36表）

表1-19 学校数・学級数・在学者数の推移（盲・聾・養護学校）

単位：校, 学級, 人

区 分	総 数			盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数	学校数	学級数	在学者数
平成12年度	29	1,102	5,089	2	55	207	5	119	521	22	928	4,361
13	29	1,122	5,276	2	54	211	5	121	530	22	947	4,535
14	29	1,119	5,312	2	51	212	5	117	503	22	951	4,597
15	29	1,147	5,426	2	53	218	5	116	525	22	978	4,683
16	30	1,194	5,585	2	56	219	5	115	524	23	1,023	4,842

(2) 学級数

学級数は盲学校が56学級、聾学校が115学級、養護学校が1,023学級で、前年度に比べ盲学校が3学級（5.7%）増加、聾学校が1学級（ $\Delta 0.9\%$ ）減少、養護学校が45学級（4.6%）増加しています。（表1-19, 統計表第1表, 第36表）

(3) 在学者数

在学者数は盲学校が219人、聾学校が524人、養護学校が4,842人で、前年度に比べ盲学校が1人（0.5%）増加、聾学校が1人（ $\Delta 0.2\%$ ）減少、養護学校が159人（3.4%）増加しています。（表1-19, 統計表第1表, 第36表）

通学状況は、家庭からの通学者が4,949人（構成比88.6%）と最も多く、次いで児童福祉施設からが288人（同5.2%）、寄宿舍からが226人（同4.0%）の順となっています。（統計表第38表）

(4) 教員数

教員数は、盲学校が本務者130人、兼務者27人、聾学校が本務者250人、兼務者51人、養護学校が本務者2,257人、兼務者107人で、前年度に比べ本務者は、盲学校が4人（3.2%）増加、聾学校が1人（ $\Delta 0.4\%$ ）減少、養護学校が132人（6.2%）増加しています。（統計表第1表, 第36表）

本務教員1人当たりの生徒数は、盲学校が1.7人、聾学校が2.1人、養護学校が2.1人となっています。これを前年度と比べると、盲学校、聾学校は同数、養護学校は0.1人の減少となっています。

8 幼稚園

(1) 園数

幼稚園数は532園で、前年度と同数となっています。

設置者別にみると、国立が1園、公立が104園、私立が427園となっており、私立が

全体の 80.3%（前年度 80.1%）を占めています。

私立を設置者別にみると、学校法人立が 411 園、宗教法人立が 11 園、個人立が 4 園、財団法人立が 1 園となっています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

(2) 学級数

学級数は 4,037 学級で、前年度に比べ 34 学級（0.8%）増加しています。

設置者別にみると、国立が 5 学級、公立が 572 学級、私立が 3,460 学級で、前年度に比べ国立が同数、公立が 6 学級（1.1%）、私立が 28 学級（0.8%）それぞれ増加となっています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

1 園当たりの学級数は 7.6 学級で、前年度に比べ 0.1 学級増加しています。

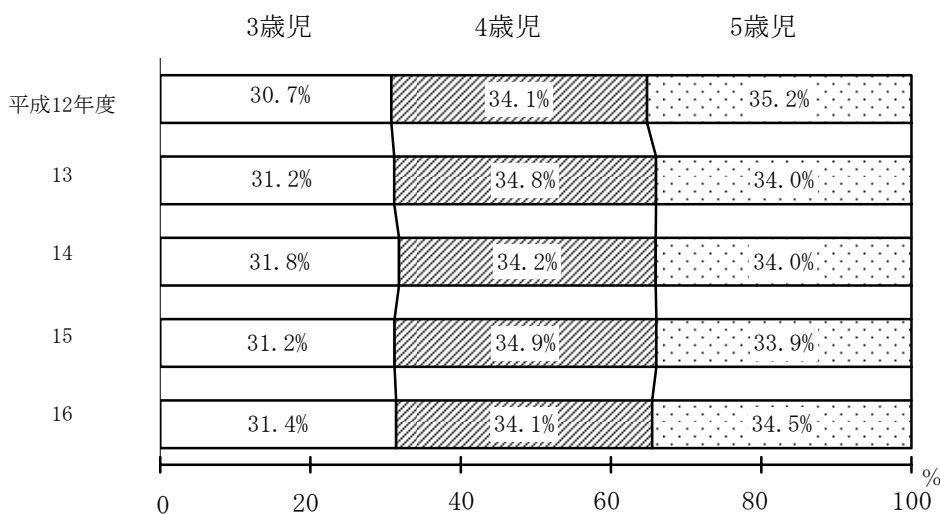
(3) 園児数

園児数は、104,562 人（男子 52,619 人、女子 51,943 人）で、前年度に比べ 279 人（0.3%）増加しています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

年齢別にみると、3 歳児が 32,824 人（構成比 31.4%）、4 歳児が 35,638 人（同 34.1%）、5 歳児が 36,100 人（同 34.5%）で、前年度に比べ 3 歳児が 290 人（0.9%）増加、4 歳児が 713 人（△2.0%）減少、5 歳児が 702 人（2.0%）増加しています。

（図 1-6, 統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

図1-6 園児数の年齢別構成比の推移（幼稚園）



1 園当たりの園児数は 196.5 人で、前年度に比べ 0.5 人増加し、1 学級当たりの園児数は 25.9 人で、前年度と比べ 0.2 人減少となっています。

設置者別にみると、国・公立が 14,032 人（構成比 13.4%）、私立が 90,530 人（同 86.6%）となっています。（統計表第 1 表, 第 39 表, 第 41 表）

(4) 教員数

教員数は本務者 5,538 人、兼務者 592 人で、前年度に比べ本務者は 60 人（1.1%）、兼務者は 64 人（12.1%）それぞれ増加しています。教育補助員（別掲）は本務者 28 人、兼務者 87 人で、前年度に比べ本務者は 12 人（75.0%）増加、兼務者は 8 人（△8.4%）減少しています。本務教員（本務の教育補助員を含む）1 人当たりの園児数は 18.8 人

で、前年度に比べ0.2人減少しています。（統計表第1表, 第39表, 第41表）

9 専修学校

(1) 学校数

学校数は196校で、前年度に比べ4校（△2.0%）減少しています。

設置者別にみると、公立が18校、私立が178校となっています。（表1-20, 統計表第1表, 第42表）

(2) 学科数

学科数は613学科で、前年度と同数となっています。

学科分野別にみると、工業関係134学科（構成比21.9%）、文化・教養関係111学科（同18.1%）、医療関係108学科（同17.6%）、服飾・家政関係107学科（同17.5%）の順となっています。（統計表第43表）

(3) 生徒数

生徒数は55,097人（男子27,348人、女子27,749人）で、前年度に比べ18人（0.0%）増加しています。（統計表第1表, 第44表）

課程別にみると、高等課程が7,524人（構成比13.7%）、専門課程が47,443人（同86.1%）、一般課程が130人（同0.2%）で、前年度に比べ高等課程が238人（△3.1%）減少、専門課程が247人（0.5%）、一般課程が9人（7.4%）それぞれ増加しています。（表1-20, 統計表第44表）

学科分野別にみると、最も多いのは工業関係学科13,157人（構成比23.9%）で、次いで医療関係学科11,685人（同21.2%）、文化・教養関係学科9,414人（同17.1%）、衛生関係学科6,976人（同12.7%）の順となっています。

（図1-7, 統計表第44表）

平成15年度間の卒業生数は、21,190人で、前年度間に比べ981人（4.9%）増加しています。（統計表第44表）

(4) 教員数

教員数は、本務者2,618人、兼務者6,007人で、前年度に比べ本務者は75人（2.9%）増加、兼務者は193人（△3.1%）減少しています。（統計表第1表, 第42表）

表1-20 設置者別学校数・課程別生徒数の推移（専修学校）

単位:校、人、%

区分	学校数	設置者別			生徒数	対前年度 増減率	男	女	高等課程	専門課程	一般課程
		国立	公立	私立							
平成12年度	211	4	21	186	53,266	△1.3	26,686	26,580	9,201	43,936	129
13	207	4	21	182	52,391	△1.6	25,871	26,520	8,820	43,448	123
14	207	4	21	182	52,570	0.3	25,659	26,911	8,218	44,243	109
15	200※	4	19	177	55,079	4.8	26,934	28,145	7,762	47,196	121
16	196	—	18	178	55,097	0.0	27,348	27,749	7,524	47,443	130

※国立校は、平成16年度から独立行政法人として私立に含まれます。

図1-7 学科分野別生徒数（専修学校）

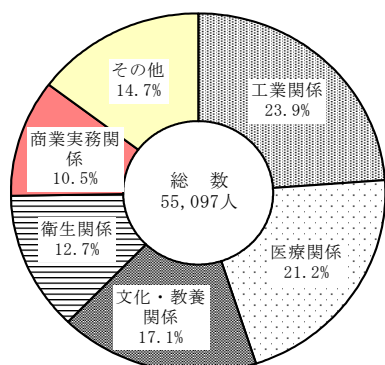
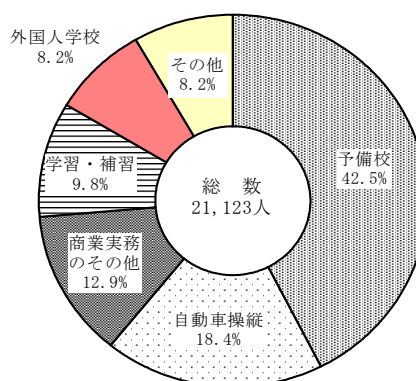


図1-8 課程別生徒数（各種学校）



10 各種学校

(1) 学校数

学校数は133校で、前年度に比べ5校（△3.6%）減少しています。

（表1-21，統計表第1表，第45表）

なお、設置者はすべて私立となっています。

(2) 課程数

課程数は166課程で、前年度に比べ4課程（△2.4%）減少しています。

課程別にみると、商業実務関係のうちその他（珠算など）60課程（構成比36.1%）、予備校21課程（同12.7%）、和洋裁20課程（同12.0%）、外国人学校19課程（同11.4%）の順となっています。（統計表第46表）

(3) 生徒数

生徒数は21,123人（男子12,206人、女子8,917人）で、前年度に比べ1,662人（△7.3%）減少しています。（表1-21，統計表第1表，第45表，第46表）

課程別にみると、最も多いのは予備校課程8,969人（構成比42.5%）で、次いで自動車操縦課程3,885人（同18.4%）、商業実務関係のうちその他（珠算など）の課程2,722人（同12.9%）、学習・補習課程2,072人（同9.8%）の順となっています。

（図1-8，統計表第46表）

平成15年度間の卒業者数は32,203人で、前年度に比べ758人（△2.3%）減少しています。（統計表第46表）

表1-21 学校数及び生徒数の推移（各種学校）

単位：校，人，%

区分	学校数	生徒数	対前年度増減率	男	女
平成12年度	166	24,790	△ 3.9	13,937	10,853
13	153	23,880	△ 3.7	13,458	10,422
14	151	23,994	0.5	13,870	10,124
15	138	22,785	△ 5.0	13,312	9,473
16	133	21,123	△ 7.3	12,206	8,917

(4) 教員数

教員数は本務者865人、兼務者593人で、前年度に比べ本務者は29人（△3.2%）、兼務者は27人（△4.4%）それぞれ減少しています。（統計表第1表，第45表）

Ⅱ 卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業生数

卒業生数は 72,086 人（男子 36,941 人、女子 35,145 人）で、前年に比べ 1,689 人（△2.3%）減少して 5 年連続の減少となりました。

進路別にみると、高等学校等進学者 69,695 人（構成比 96.7%）、死亡・不詳等 1,183 人（同 1.6%）、就職者 850 人（同 1.2%）、専修学校（高等課程）進学者 191 人（同 0.3%）、専修学校（一般課程）等入学者 97 人（同 0.1%）、公共職業能力開発施設等入学者 70 人（同 0.1%）の順となっています。

なお、高等学校等進学者、専修学校（高等課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者 34 人（卒業生の 0.0%）を含む就職者総数は 884 人となっています。（表 2-1、統計表第 47 表）

表2-1 進路別卒業生数（中学校）

単位：人、%

区 分	平成 16 年 3 月			平成 15 年 3 月		
	数	構成比	対前年増減率	数	構成比	対前年増減率
総 数	72,086	100.0	△ 2.3	73,775	100.0	△ 0.7
A 高等学校等進学者	69,695	96.7	△ 2.0	71,132	96.4	△ 0.0
高等学校	69,038	95.8	△ 2.0	70,466	95.5	△ 0.1
本科	65,335	90.6	△ 1.8	66,505	90.1	△ 0.4
全日制	1,227	1.7	△ 4.9	1,290	1.7	5.8
定時制	2,476	3.4	△ 7.3	2,671	3.6	6.0
通信制	-	-	-	-	-	-
別科	-	-	-	-	-	-
中等教育 学校 後期課程	-	-	-	-	-	-
本科	-	-	-	-	-	-
全日制	-	-	-	-	-	-
定時制	-	-	-	-	-	-
通信制	-	-	-	-	-	-
別科	-	-	-	-	-	-
高等 専門 学校	229	0.3	△ 6.5	245	0.3	3.8
盲・聾・ 養護学校	428	0.6	1.7	421	0.6	11.7
高等部本科	-	-	-	-	-	-
高等部別科	-	-	-	-	-	-
B 専修学校（高等課程）進学者	191	0.3	△ 2.1	195	0.3	△ 43.8
C 専修学校（一般課程）等入学者	97	0.1	△ 21.1	123	0.2	△ 30.1
専修学校（一般課程）	26	0.0	△ 48.0	50	0.1	△ 12.3
各種学校	71	0.1	△ 2.7	73	0.1	△ 38.7
D 公共職業能力開発施設等入学者	70	0.1	△ 23.1	91	0.1	5.8
E 就 職 者	850	1.2	△ 4.7	892	1.2	△ 20.4
F、G 上記以外の者、死亡・不詳	1,183	1.6	△ 11.8	1,342	1.8	△ 5.6
再 Aのうち通信制課程を除く進学者	67,219	93.2	△ 1.8	68,461	92.8	△ 0.2
Aのうち就職している者	34	0.0	△ 49.3	67	0.1	13.6
Bのうち就職している者	-	-	-	1	0.0	-
Cのうち就職している者	-	-	-	-	-	-
掲 Dのうち就職している者	-	-	-	-	-	-
高等学校等入学志願者		67,909			69,267	
高等学校等進学率		96.7			96.4	
男		96.2			95.9	
女		97.1			96.9	
通信制課程を除く 高等学校等進学率		93.2			92.8	
男		92.2			91.6	
女		94.3			94.0	
就職率		1.2			1.3	
男		1.8			1.9	
女		0.6			0.6	

注：高等学校等入学志願者には、通信制高等学校入学志願者を含みません。

(2) 進路状況

ア 高等学校等進学者数

高等学校等進学者数は69,695人(男子35,552人、女子34,143人)で、前年に比べ1,437人(△2.0%)減少しています。

進学先をみると、高等学校全日制65,335人(高等学校等進学者数の93.7%)、同通信制2,476人(同3.6%)、同定時制1,227人(同1.8%)、盲・聾・養護学校高等部本科428人(同0.6%)、高等専門学校229(0.3%)の順となっています。

高等学校等進学率は96.7%で、前年に比べ0.3ポイント上昇し、過去最高となりました。男女別にみると、男子が96.2%、女子が97.1%で、前年に比べ男子が0.3ポイント、女子が0.2ポイントそれぞれ上昇しています。なお、全国平均は97.5%(男子97.2%、女子97.8%)となっています。(表2-1, 図2-1, 統計表第47表)

地域別にみると、名古屋市が96.8%で最も高く、次いで尾張地域が96.7%、西三河地域、東三河地域が96.6%となっています。(表2-2)

図2-1 愛知県と全国の高等学校等進学率の推移(中学校)

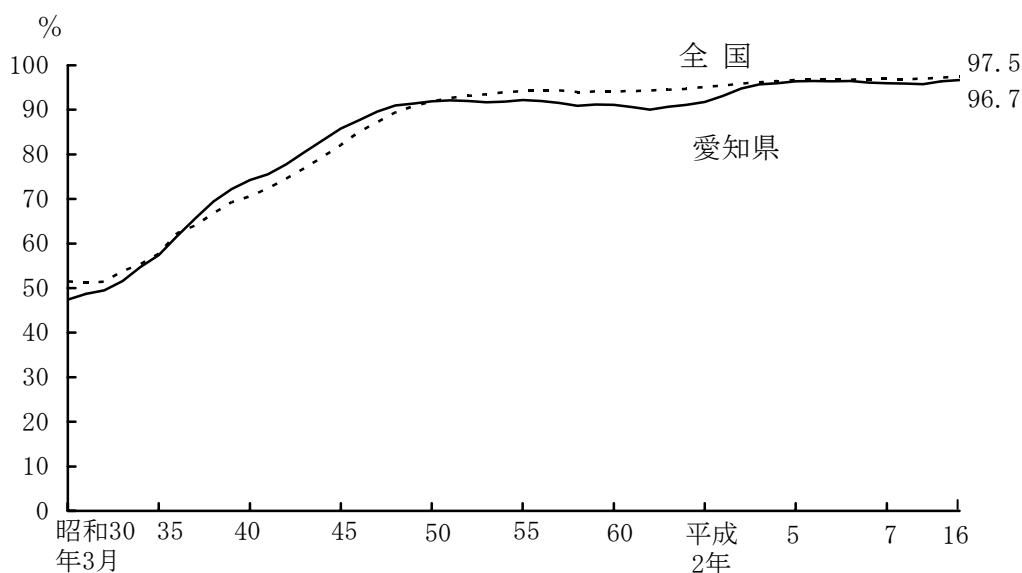


表2-2 地域別高等学校等進学者数(中学校)

単位:人,%,ポイント

区分	卒業者数	高等学校等 進学者数	高等学校等 進学率	対前年増減					
				卒業者数		高等学校等進学者		高等学校等 進学率	
				実数	率	実数	率		
総数	72,086	69,695 (67,219)	96.7 (93.2)	△1,689	△2.3	△1,437	△2.0	0.3	
名古屋市	20,741	20,071 (19,405)	96.8 (93.6)	△687	△3.2	△641	△3.1	0.1	
尾張地域	26,983	26,091 (25,279)	96.7 (93.7)	△276	△1.0	△191	△0.7	0.3	
西三河地域	16,092	15,545 (14,692)	96.6 (91.3)	△341	△2.1	△296	△1.9	0.2	
東三河地域	8,270	7,988 (7,843)	96.6 (94.8)	△385	△4.4	△309	△3.7	0.7	

注: () 書きは通信制課程進学者を除きます。

イ 専修学校（高等課程）進学者数

専修学校（高等課程）進学者数は191人（男子85人、女子106人）で、前年に比べ4人（△2.1%）減少しており、卒業者数の0.3%（男子0.2%、女子0.3%）を占めています。（表2-1, 2-3, 統計表第47表）

ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は97人（男子48人、女子49人）で、前年に比べ26人（△21.1%）減少しています。

入学先をみると、専修学校（一般課程）が26人、各種学校が71人で、前年に比べ専修学校（一般課程）が24人（△48.0%）減少、各種学校が2人（△2.7%）減少しています。

卒業者数に占める割合は0.1%（男子0.1%、女子0.1%）で、このうち専修学校（一般課程）が0.0%、各種学校が0.1%となっています。（表2-1, 2-3, 統計表第47表）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は70人（男子58人、女子12人）で、前年に比べ21人（△23.1%）減少しており、卒業者数の0.1%（男子0.2%、女子0.0%）を占めています。（表2-1, 2-3, 統計表第47表）

表2-3 専修学校（高等課程）進学者数等の推移（中学校）

単位：人

区 分	専修学校 （高等課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校 （一般課程）	各種学校	公共職業能力 開発施設等
平成12年3月	238	156	47	109	147
13	230	169	40	129	128
14	347	176	57	119	86
15	195	123	50	73	91
16	191	97	26	71	70

オ 就職者総数

就職者総数は884人（男子665人、女子219人）で、前年に比べ76人（△7.9%）減少しています。

就職率は1.2%で、前年に比べ0.1ポイント低下し、男女別にみると、男子が1.8%、女子が0.6%で、前年に比べ男子が0.1ポイント低下、女子は同数となっています。なお、全国平均は0.7%となっています。（表2-1, 図2-2, 統計表第47表）

就職先を産業別にみると、第1次産業が25人（構成比2.8%）、第2次産業が560人（同63.3%）、第3次産業が284人（同32.1%）となっており、構成比を前年と比べると、第1次産業は0.4ポイント低下、第2次産業は5.0ポイント上昇、第3次産業は3.6ポイント低下しています。

就職先を県内・県外別にみると、県内が867人（構成比98.1%）、県外が17人（同1.9%）となっています。県内就職率98.1%（全国第2位）は、前年に比べ7.0ポイント上昇しています。（表2-4, 統計表第48表）

図2-2 愛知県と全国の就職率の推移（中学校）

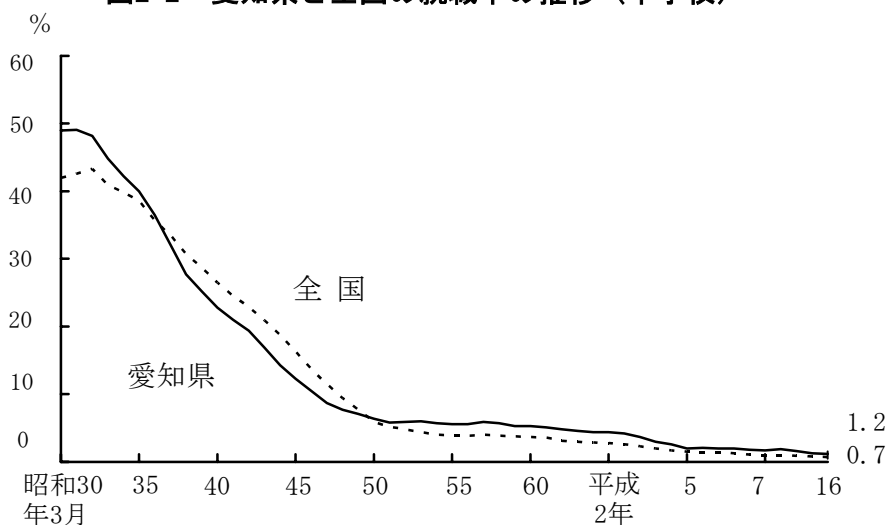


表2-4 産業別・県内県外別就職者数（中学校）

単位：人，%

区分	平成16年3月					平成15年3月				
	総数	構成比	対前年増減率	男	女	総数	構成比	対前年増減率	男	女
総数	884	100.0	△ 7.9	665	219	960	100.0	△ 18.8	729	231
第1次産業	25	2.8	△ 19.4	20	5	31	3.2	△ 11.4	30	1
第2次産業	560	63.3	0.0	489	71	560	58.3	△ 22.1	486	74
第3次産業	284	32.1	△ 17.2	145	139	343	35.7	△ 15.1	196	147
上記以外のもの	15	1.7	△ 42.3	11	4	26	2.7	8.3	17	9
県内	867	98.1	△ 7.3	654	213	935	97.4	△ 18.6	706	229
県外	17	1.9	△ 32.0	11	6	25	2.6	△ 26.5	23	2

2 高等学校

(1) 卒業生数

卒業生数は 65,353 人（男子 32,700 人、女子 32,653 人）で、前年に比べ 1,801 人（△2.7%）減少しました。

進路別にみると、大学等進学者 33,924 人（構成比 51.9%）、就職者 11,037 人（同 16.9%）、専修学校（専門課程）進学者 10,768 人（同 16.5%）、専修学校（一般課程）等入学者 5,094 人（同 7.8%）、死亡・不詳等 3,269 人（同 5.0%）、一時的な仕事に就いた者 1,117 人（同 1.7%）、公共職業能力開発施設等入学者 144 人（同 0.2%）の順となっています。

なお、大学等進学者のうち就職している者 6 人（卒業生数の 0.0%）、専修学校（専門課程）進学者のうち就職している者 14 人（同 0.0%）、専修学校（一般課程）等入学者のうち就職している者 4 人（同 0.0%）を含む就職者総数は、11,061 人となっています。（表 2-5、統計表第 49 表）

(2) 進路状況

ア 大学等進学者数

大学等進学者数は 33,924 人（男子 16,711 人、女子 17,213 人）で、前年に比べ 459 人（△1.3%）減少しています。

進学先をみると、大学（学部）28,702 人（大学等進学者数の 84.6%）、短期大学（本科）5,109 人（同 15.1%）の順となっています。

大学等進学率は 51.9%（全国第 6 位）で、前年に比べ 0.7 ポイント上昇し、5 年ぶりの上昇となりました。男女別にみると、男子が 51.1%、女子が 52.7%で、前年に比べ男子が 0.9 ポイント、女子が 0.5 ポイントそれぞれ上昇しています。なお、全国平均は 45.3%（男子 43.6%、女子 47.1%）となっています。

（表 2-5、図 2-3、統計表第 50 表）

地域別にみると、尾張地域が 55.6%と最も高く、次いで名古屋市 51.1%、西三河地域 50.6%、東三河地域 45.9%の順となっています。（表 2-6）

表2-5 進路別卒業生数（高等学校）

単位：人，%

区 分	平成 16 年 3 月			平成 15 年 3 月		
	数	構成比	対前年増減率	数	構成比	対前年増減率
総 数	65,353	100.0	△ 2.7	67,154	100.0	△ 2.8
A 大学等進学者	33,924	51.9	△ 1.3	34,383	51.2	△ 4.2
大学（学部）	28,702	43.9	△ 0.6	28,862	43.0	△ 4.2
短期大学（本科）	5,109	7.8	△ 5.2	5,387	8.0	△ 4.5
大学・短期大学の 通信教育部及び放送大学	14	0.0	△ 33.3	21	0.0	600.0
その他	99	0.2	△ 12.4	113	0.2	△ 9.6
B 専修学校（専門課程）進学者	10,768	16.5	△ 2.4	11,036	16.4	8.1
C 専修学校（一般課程）等進学者	5,094	7.8	△ 10.9	5,714	8.5	△ 3.5
専修学校（一般課程・高等課程）	198	0.3	△ 10.4	221	0.3	7.8
各 種 学 校	4,896	7.5	△ 10.9	5,493	8.2	△ 3.9
D 公共職業能力開発施設等進学者	144	0.2	1.4	142	0.2	12.7
E 就 職 者	11,037	16.9	0.9	10,942	16.3	△ 8.5
F 一時的な仕事に就いた者	1,117	1.7	-	...	-	-
G、H 上記以外の者、死亡・不詳	3,269	5.0	△ 33.8	4,937	7.4	△ 0.6
再 掲						
Aのうち就職している者	6	0.0	50.0	4	0.0	△ 50.0
Bのうち就職している者	14	0.0	7.7	13	0.0	△ 62.9
Cのうち就職している者	4	0.0	△ 75.0	16	0.0	△ 5.9
Dのうち就職している者	-	-	-	-	-	-
大学等入学志願者	40,173			41,748		
大学等進学率	51.9			51.2		
男	51.1			50.2		
女	52.7			52.2		
通信教育部を除く 大学等進学率	51.9			51.2		
男	51.1			50.2		
女	52.7			52.2		
就 職 率	16.9			16.3		
男	18.4			17.6		
女	15.4			15.2		

図2-3 愛知県と全国の大学等進学率の推移（高等学校）

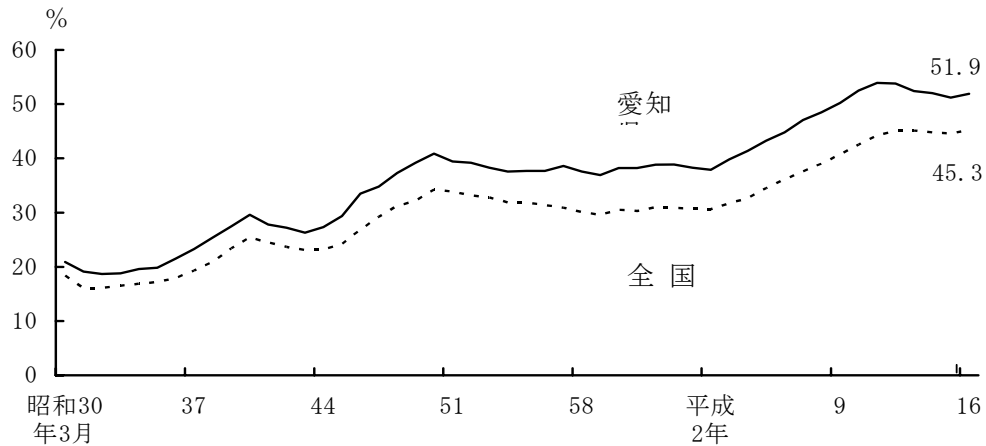


表2-6 地域別大学等進学者数（高等学校）

単位：人，％，ポイント

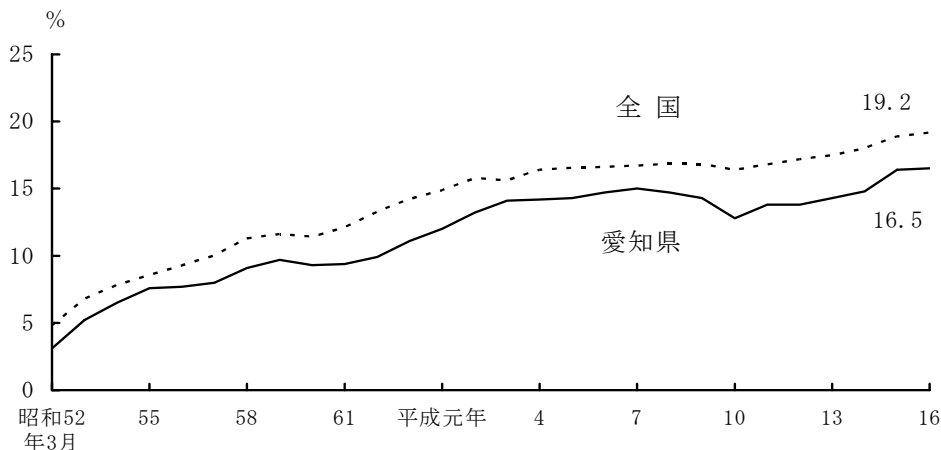
区分	卒業生数	大学等 進学者数	大学等 進学率	対 前 年 増 減					
				卒 業 者 数		大 学 等 進 学 者 数		大 学 等 進 学 率	
				実 数	率	実 数	率	実 数	率
総 数	65,353	33,924 (33,910)	51.9 (51.9)	△ 1,801	△ 2.7	△ 459	△ 1.3	0.7	
名古屋市	21,912	11,204 (11,200)	51.1 (51.1)	△ 386	△ 1.7	△ 18	△ 0.2	0.8	
尾張地域	21,712	12,074 (12,067)	55.6 (55.6)	△ 768	△ 3.4	△ 63	△ 0.5	1.6	
西三河地域	14,212	7,196 (7,193)	50.6 (50.6)	△ 365	△ 2.5	△ 158	△ 2.1	0.2	
東三河地域	7,517	3,450 (3,450)	45.9 (45.9)	△ 282	△ 3.6	△ 220	△ 6.0	△ 1.2	

注：（ ）書きは通信教育部進学者を除きます。

イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は、10,768人（男子4,454人、女子6,314人）で、前年に比べ268人（△2.4%）減少しており、卒業生数の16.5%（男子13.6%、女子19.3%）を占めています。（表2-5, 2-7, 図2-4, 統計表第50表）

図2-4 専修学校（専門課程）進学率の推移（高等学校）



ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は、5,094人（男子3,584人、女子1,510人）で、前年に比べ620人（△10.9%）減少しています。

入学先をみると、専修学校（一般課程・高等課程）198人、各種学校4,896人となっています。

これを前年と比べると、専修学校（一般課程・高等課程）が23人（△10.4%）、各種学校が597人（△10.9%）それぞれ減少しています。

卒業者数に占める割合は7.8%（男子11.0%、女子4.6%）で、このうち専修学校（一般課程・高等課程）等が0.3%、各種学校が7.5%となっています。（表2-5, 2-7, 統計表第50表）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は、144人（男子120人、女子24人）で、前年に比べ2人（1.4%）増加しており、卒業者数の0.2%（男子0.4%、女子0.1%）を占めています。

（表2-5, 2-7, 統計表第50表）

表2-7 専修学校（専門課程）進学者数等の推移（高等学校）

単位：人

区分	専修学校 （専門課程）	専修学校 （一般課程）等	専修学校 （一般課程・高等課程）	各種学校	公共職業能力 開発施設等
平成12年3月	9,476	5,186	99	5,087	162
13	9,646	5,838	300	5,538	124
14	10,210	5,920	205	5,715	126
15	11,036	5,714	221	5,493	142
16	10,768	5,094	198	4,896	144

オ 就職者総数

就職者総数は、11,061人（男子6,022人、女子5,039人）で、前年に比べ86人（0.8%）増加しています。

就職率は16.9%で、前年に比べ0.6ポイント上昇し、男女別にみると、男子が18.4%、女子が15.4%で、前年に比べ男子が0.8ポイント、女子が0.2ポイントそれぞれ上昇しています。

なお、全国平均は16.9%となっています。（表2-5, 統計表第50表）

就職先を産業別にみると、製造業6,014人（構成比54.4%）、卸売・小売業1,441人（同13.0%）、サービス業1,054人（同9.5%）の順となっています。（図2-5, 統計表第51表）

職業別にみると、生産工程・労務作業者6,208人（構成比56.1%）、事務従事者1,459人（同13.2%）の順となっています。これを男女別にみると、男子は生産工程・労務作業者が4,665人（同77.5%）で就職者の7割以上を占めています。女子は生産工程・労務作業者が1,543人（同30.6%）、事務従事者が1,369人（同27.2%）の順となり、この2業種で就職者の5割以上を占めています。（表2-9, 統計表第51表）

なお、就職先を県内県外別にみると、県内が10,771人（構成比97.4%）、県外が290人（同2.6%）となっています。県内就職率97.4%（全国第1位）は、前年に比べ0.1ポイント低下しています。（表2-9）

図2-5 産業別就職者数

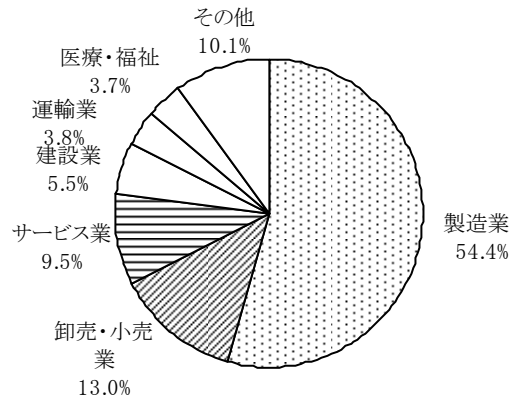


表 2-9 職業別・県内県外別就職者数 (高等学校)

単位:人, %

区 分	平成 16 年 3 月					平成 15 年 3 月				
	総 数	構 成 比	対前年 増減率	男	女	総 数	構 成 比	対前年 増減率	男	女
総 数	11,061	100.0	0.8	6,022	5,039	10,975	100.0	△ 8.7	5,856	5,119
専門的・技術的職業従事者	356	3.2	50.2	177	179	237	2.2	40.2	94	143
事 務 従 事 者	1,459	13.2	△ 10.3	90	1,369	1,627	14.8	△ 18.2	102	1,525
販 売 従 事 者	1,046	9.5	8.3	336	710	966	8.8	△ 7.1	326	640
サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	1,445	13.1	△ 10.6	357	1,088	1,616	14.7	△ 6.6	474	1,142
生産工程・労務作業	6,208	56.1	4.5	4,665	1,543	5,939	54.1	△ 8.3	4,414	1,525
そ の 他	547	4.9	△ 7.3	397	150	590	5.4	△ 3.3	446	144
県 内	10,771	97.4	0.7	5,831	4,940	10,699	97.5	△ 8.2	5,678	5,021
県 外	290	2.6	5.1	191	99	276	2.5	△ 22.9	178	98

3 通信制高等学校

(1) 卒業者数

卒業者数は、2,008人（男子1,442人、女子566人）で、平成14年度間に比べ317人（△13.6%）減少しています。進路別にみると、専修学校（専門課程）進学者が722人（構成比36.0%）と最も多く、就職者635人（同31.6%）、上記以外の者451人（同22.5%）、大学等進学者188人（同9.4%）、専修学校（一般課程）等入学者11人（同0.5%）、公共職業能力開発施設等入学者1人（同0.0%）の順となっています。

（表2-10、統計表第53表）

(2) 進路状況

ア 大学等進学者数

大学等進学者数は188人（男子131人、女子57人）となっています。

進学先をみると、大学（学部）が96人、短期大学（本科）が82人、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学が10人となっています。（表2-10、統計表第53表）

イ 専修学校（専門課程）進学者数

専修学校（専門課程）進学者数は722人（男子575人、女子147人）となっています。

（表2-10、統計表第53表）

ウ 専修学校（一般課程）等入学者数

専修学校（一般課程）等入学者数は11人（男子5人、女子6人）で、進学先は専修学校（一般課程・高等課程）2人、各種学校9人となっています。

（表2-10、統計表第53表）

エ 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等入学者数は1人（男子1人）となっています。

（表2-10、統計表第53表）

オ 就職者総数

就職者総数は642人（男子477人、女子165人）となっています。

（表2-10、統計表第55表）

就職先を産業別にみると製造業271人（構成比42.2%）、飲食店、宿泊業81人（同12.6%）、卸売・小売業79人（同12.3%）の順となっています。（統計表第55表）

就職先を職業別にみると、生産工程・労務作業者が343人（構成比53.4%）、サービス職業従事者が141人（同22.0%）、販売従事者が72人（同11.2%）の順となっています。

（統計表第55表）

表2-10 進路別卒業者数（通信制高等学校）

単位：人、%

区分	平成15年度間		平成14年度間	
	数	構成比	数	構成比
総数	2,008	100.0	2,325	100.0
A 大学等進学者	188	9.4	215	9.2
大学（学部）	96	4.8	139	6.0
短期大学（本科）	82	4.1	58	2.5
大学・短期大学の通信教育部及び放送大学のその他	10	0.5	18	0.8
その他	-	0.0	-	0.0
B 専修学校（専門課程）進学者	722	36.0	675	29.0
C 専修学校（一般課程）等入学者	11	0.5	33	1.4
専修学校（一般課程・高等課程）	2	0.1	2	0.1
各種学校	9	0.4	31	1.3
D 公共職業能力開発施設等入学者	1	0.0	3	0.1
E 就職者	635	31.6	835	35.9
F・G 上記以外の者、死亡・不詳	451	22.5	564	24.3
再掲				
Aのうち就職している者	7	0.3	5	0.2
Bのうち就職している者	5	0.2	3	0.1
Cのうち就職している者	1	0.0	-	-
Dのうち就職している者	1	0.0	-	-

4 大 学 (学部)

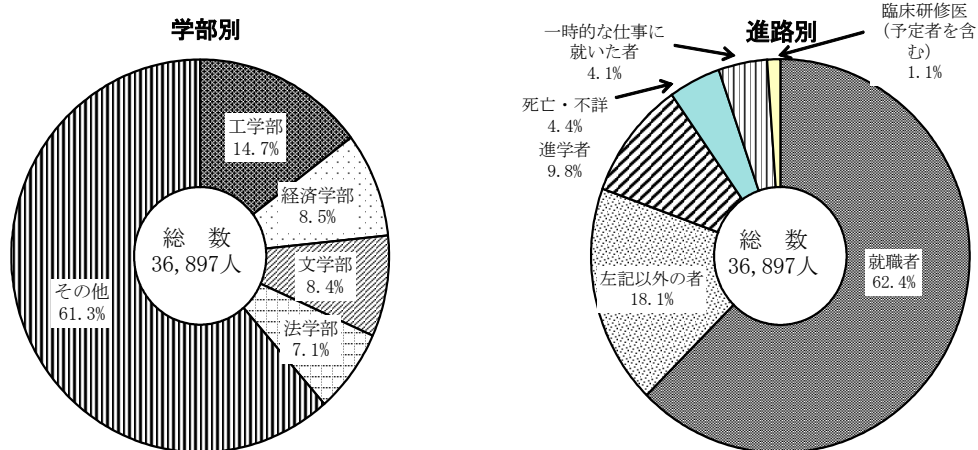
(1) 卒業生数

卒業生数は、36,897人(男子21,158人、女子15,739人)で、前年に比べ1,597人(4.5%)増加しています。

学部別にみると、工学部が5,422人(構成比14.7%)と最も多く、次いで経済学部3,153人(同8.5%)、文学部3,106人(同8.4%)、法学部2,615人(同7.1%)の順となっています。

進路別にみると、就職者が23,038人(構成比62.4%)、左記以外の者が6,687人(同18.1%)、進学者が3,607人(同9.8%)、死亡・不詳が1,629人(同4.4%)、一時的な仕事に就いた者が1,526人(同4.1%)、臨床研修医(予定者を含む)が410人(同1.1%)、となっています。(図2-5,統計表第56表)

図2-5 学部別、進路別卒業生の割合 (大学)



(2) 就職者総数

就職者総数(進学者のうち就職している者を含む)は、23,038人(男子12,641人、女子10,397人)で、前年に比べ男子が808人(6.8%)、女子が609人(6.2%)それぞれ増加しています。

就職率は62.4%で、前年に比べ1.2ポイント上昇しています。男女別にみると、男子が59.7%、女子が66.1%で、前年に比べ男子が1.7ポイント、女子が0.4ポイントそれぞれ上昇しています。(表2-11)

学部別にみると、看護学部(90.3%)、衛生学部(86.6%)、総合政策学部(82.1%)などが高くなっているのに対し、総合経営学部(就職者なし)、理学部(23.5%)、美術学部(27.1%)などが低くなっています。(統計表第56表)

表2-11 就職率の推移 (大学)

単位: %、ポイント

区 分	総 数	対前年増減		男	対前年増減		女	対前年増減	
平成12年3月	59.8	△	9.0	57.3	△	11.9	63.5	△	4.6
13	61.2		1.4	58.6		1.3	65.1		1.6
14	62.7		1.5	59.7		1.1	66.9		1.8
15	61.2	△	1.5	58.0	△	1.7	65.7	△	1.2
16	62.4		1.2	59.7		1.7	66.1		0.4

5 大学院

(1) 卒業生数

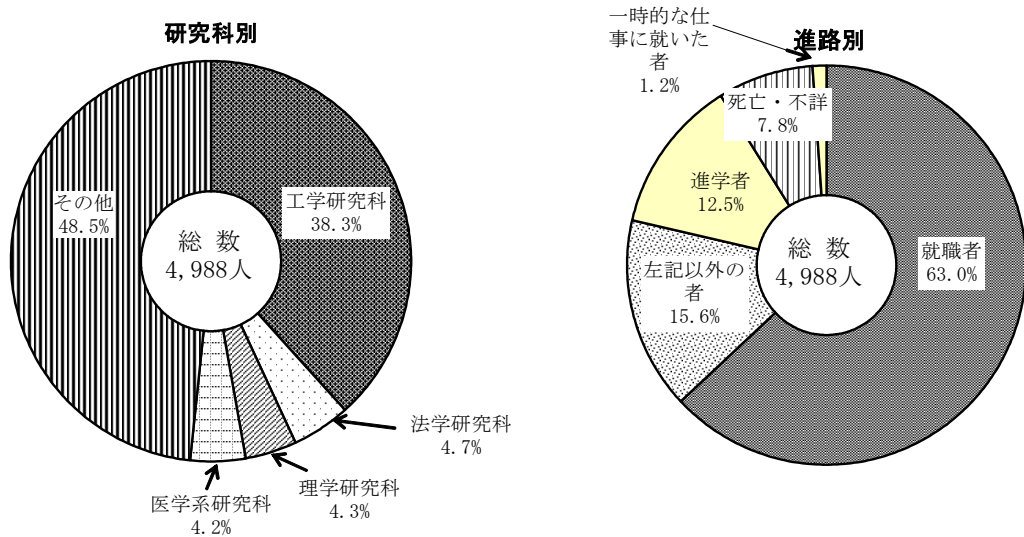
卒業生数は、4,988人（男子3,632人、女子1,356人）で、前年に比べ253人（6.1%）増加しています。

課程別にみると、修士課程（修士課程及び博士前期課程）が4,132人、博士課程（博士後期課程及び医・歯学の博士課程）が856人となっています。これを前年と比べると、修士課程が18人（△0.4%）、博士課程が21人（△2.4%）それぞれ減少しています。

研究科別にみると、工学研究科が1,910人（構成比38.3%）と最も多く、次いで法学研究科236人（同4.7%）、理学研究科214人（同4.3%）、医学研究科211人（同4.2%）の順となっています。

進路別にみると、修士課程では就職者が2,707人（修士課程卒業生の65.5%）、進学者が582人（同14.1%）、左記以外の者が514人（同12.4%）、死亡・不詳が285人（同6.9%）となっており、博士課程では就職者が434人（博士課程卒業生の50.7%）、左記以外の者が302人（同35.3%）、死亡・不詳が102人（同11.9%）となっています。（図2-6、統計表第59表）

図2-6 研究科別、進路別卒業生の割合（大学院）



(2) 就職者総数

就職者総数（進学者のうち就職している者を含む）は3,169人（男子2,526人、女子643人）で、前年に比べ男子が18人（0.7%）、女子が44人（7.3%）それぞれ増加しています。

就職率は63.5%で、前年に比べ1.7ポイント上昇しています。

課程別にみると、修士課程が66.2%、博士課程が50.7%となっています。これを前年と比べると、修士課程が2.4ポイント上昇、博士課程が1.5ポイント低下しています。

研究科別にみると、歯学研究科（95.7%）、医学研究科（87.5%）、看護学研究科（87.5%）などが高いのに対し、社会学研究科、ビジネス・イノベーション研究科、中国研究科が就職者がありませんでした。（統計表第59表）

6 短期大学（本科）

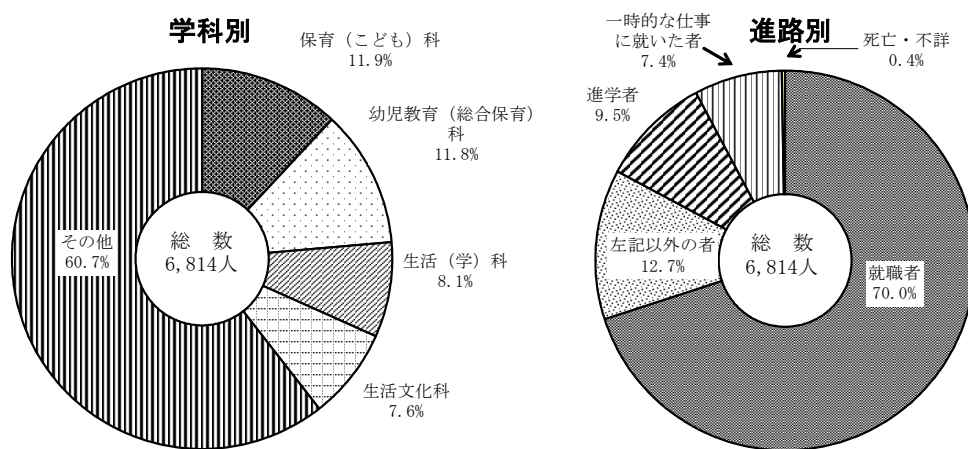
(1) 卒業生数

卒業生数は、6,814人（男子376人、女子6,438人）で、前年に比べ631人（△8.5%）減少しています。

学科別にみると、保育（こども）科が810人（構成比11.9%）と最も多く、次いで幼児教育（総合保育）科801人（同11.8%）、生活（学）科554人（同8.1%）、生活文化科515人（同7.6%）の順となっています。

進路別にみると、就職者が4,770人（構成比70.0%）、左記以外の者が863人（同12.7%）、進学者が647人（同9.5%）、一時的な仕事に就いた者が507人（同7.4%）死亡・不詳が27人（同0.4%）となっています。（図2-7、統計表第62表）

図2-7 学科別、進路別卒業生の割合（短期大学・本科）



(2) 就職者総数

就職者総数は4,770人（男子254人、女子4,516人）で、前年に比べ男子が30人（13.4%）増加、女子が315人（△6.5%）減少しています。

就職率は70.0%で、前年に比べ2.1ポイント上昇しています。男女別にみると、男子が67.6%、女子は70.1%となっています。これを前年と比べると、男子が1.3ポイント、女子が2.1ポイントそれぞれ上昇しています。（表2-12）

学科別にみると、医療情報技術科（91.8%）、人間福祉学科（88.4%）、保育（こども）科（85.9%）などが高いのに対し、人間文化科（5.6%）、経営科（29.4%）、造形芸術科（38.8%）などが低くなっています。（統計表第62表）

表2-12 就職率の推移（短期大学）

区分	総数	対前年増減	単位：%、ポイント			
			男	対前年増減	女	対前年増減
平成12年3月	62.6	△ 3.3	48.4	△ 6.5	63.7	△ 3.1
13	66.6	4.0	57.3	8.9	67.3	3.6
14	67.9	1.3	59.0	1.7	68.4	1.1
15	67.9	0.0	66.3	7.3	68.0	△ 0.4
16	70.0	2.1	67.6	1.3	70.1	2.1

7 盲学校・聾学校・養護学校 中学部

卒業生数は、367人（盲学校9人、聾学校34人、養護学校324人）で、進路別にみると、高等学校等進学者が353人（構成比96.2%）、左記以外の者が11人（同3.0%）となっています。

（図2-8、統計表第66表）

高等学校等進学者を学校種別にみると、盲学校が9人、聾学校が34人、養護学校が310人となっています。（統計表第66表）

8 盲学校・聾学校・養護学校 高等部

卒業生数は、720人（盲学校13人、聾学校40人、養護学校667人）で、進路別にみると、就職者240人（構成比33.3%）、大学等進学者31人（同4.3%）、公共職業能力開発施設等入学者25人（同3.5%）、専修学校（専門課程）進学者7人（同1.0%）、専修学校（一般課程）等入学者2人（同0.3%）、左記以外の者が414人（同57.5%）となっています。（図2-9、統計表第67表）

大学等進学者を学校種別にみると、盲学校7人、聾学校17人、養護学校7人となっており、進学先は大学（学部）へ盲学校1人、聾学校7人、養護学校7人、短期大学（本科）へ盲学校1人、聾学校3人、盲・聾・養護学校高等部専攻科へ盲学校5人、聾学校7人となっています。（統計表第68表）

専修学校（専門課程）進学者を学校種別にみると、聾学校4人、養護学校3人となっています。（統計表第67表）

専修学校（一般課程）等入学者を学校種別にみると、養護学校2人が各種学校への入学となっており、公共職業能力開発施設等入学者を学校種別にみると、聾学校3人、養護学校22人となっています。（統計表第67表）

就職者を学校種別にみると、盲学校1人、聾学校12人、養護学校227人で、産業別にみると、製造業144人（構成比60.0%）、卸売・小売業40人（同16.7%）飲食店、宿泊業21人（同8.8%）の順となっています。（統計表第69表）

図2-8 進路別卒業生の割合（中等部）

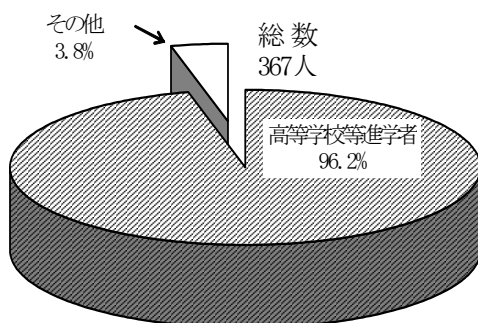
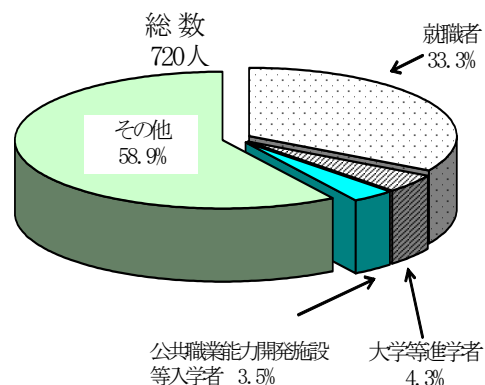


図2-9 進路別卒業生の割合（高等部）



Ⅲ 不就学学齡児童生徒調査

平成 15 年度間に市町村教育委員会から就学の免除又は就学の猶予を受けている者は、学齡児童（6～11 歳）が就学免除者 1 人、就学猶予者 63 人、学齡生徒（12～14 歳）が就学免除者 0 人、就学猶予者 23 人となっています。（表 3-1, 統計表第 71 表）

理由別にみると、学齡児童の就学免除者はその他 1 人となっており、就学猶予者は肢体不自由 1 人（就学猶予者数の 1.6%）、その他 62 人（同 98.4%）となっています。また、学齡生徒の就学猶予者は児童自立支援施設又は少年院にいるため 4 人（同 17.4%）、病弱・虚弱 1 人（同 4.3%）、その他 18 人（同 78.3%）となっています。（図 3-1, 統計表第 71 表）

1 年以上居所不明者は 36 人で、前年度間に比べ 14 人（63.6%）増加しています。

学齡児童は 29 人、学齡生徒は 7 人で、前年度間に比べ学齡児童は 13 人（81.3%）、学齡生徒は 1 人（16.7%）それぞれ増加となっています。（統計表第 71 表）

平成 15 年度間の児童・生徒の死亡者数は 48 人で、前年度間に比べ 2 人（△4.0%）減少しています。

児童・生徒別にみると、学齡児童は 26 人、学齡生徒は 22 人で、前年度間に比べ学齡児童は 4 人（△13.3%）減少、学齡生徒は 2 人（10.0%）増加しています。（統計表第 72 表）

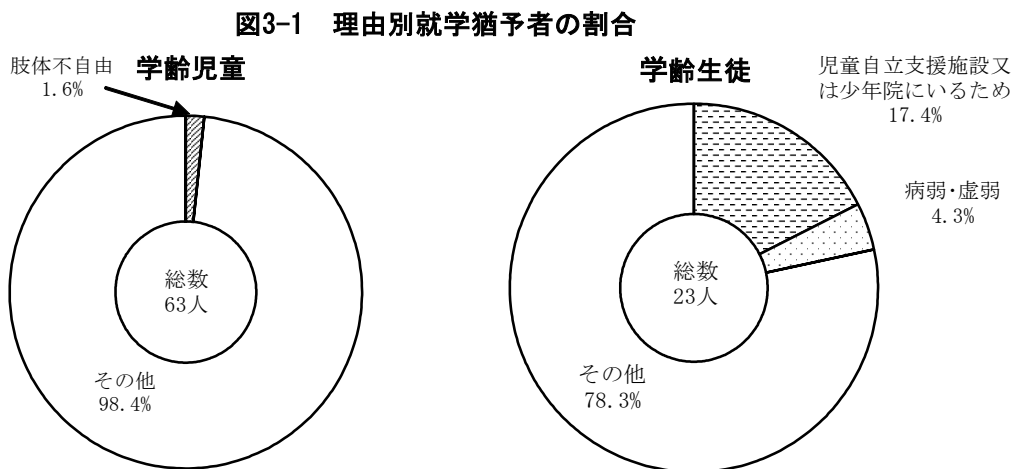


表3-1 不就学学齡児童生徒数の推移

単位：人，%

区 分	総 数		就 学 免 除 者				就 学 猶 予 者			
			学 齢 児 童		学 齢 生 徒		学 齢 児 童		学 齢 生 徒	
			対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率		
平成11年度間	19	△ 32.1	1	0.0	2	100.0	13	△ 7.1	3	△ 75.0
12	31	63.2	2	100.0	-	-	22	69.2	7	133.3
13	63	103.2	2	0.0	-	-	43	95.5	18	157.1
14	73	15.9	1	△ 50.0	1	-	55	27.9	16	△ 11.1
15	87	19.2	1	0.0	-	-	63	14.5	23	43.8